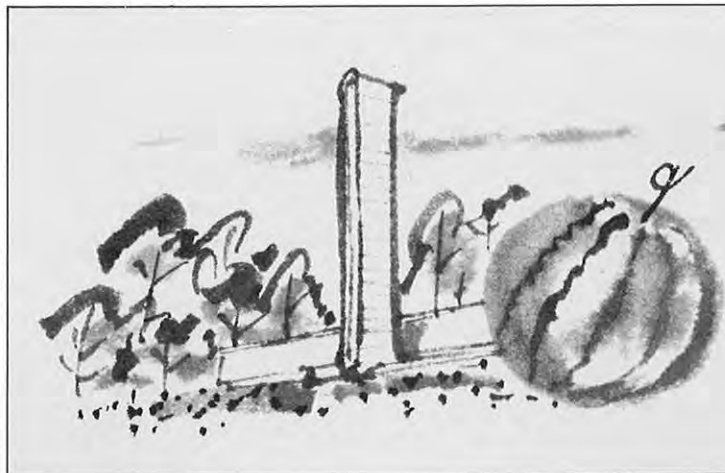


わたしの郷土



熊本市の北部、植木台地に位置する町、すいかの産地として全国に名を知られた町こそわたしの生まれ育った植木町です。たばこづくりや大根の産地としても知られています。

また植木は熊本市や玉名市、菊池市、山鹿市を結ぶ大切な交通の幹線として昔から発達してきました。今はたくさん市の市や町ができていますが、植木町としての歴史はかなり古いのです。昔は人力車や馬車がいきかい、たいへんにぎやかだったといえます。最近ではバイパスや国道三号線、高速道路も整備され自動車の交通量もはげしくなりました。また人口は二万七千二人で、熊本県下の町村の中で最高の数をほこっています。三ノたけのふもとには田原坂ニュータウンができ、家がどんどんふえています。

田原坂ニュータウンの西方には官軍、薩軍の英霊一万三千柱を祭るいれい塔がそびえています。明治十年の西南の役古戦場として

歴史にのこる田原坂です。明治の当時から戦時中までは老松の林だったということですが、戦後松食虫にあらされて老木はほとんど全滅つし、今はつつじやさくらが植えられ、春には花見の人たちでにぎわっています。公園の周辺はみかん園がふえ、冬は黄色の実がゆれて美しい光景です。

また小野にある小野の泉水も小野小町出生の地としてよく知られていますし、ほかにも昔から残された文化財がたくさんあります。

植木町北部豊田から右へ行くと合志川の清流にそって近代的な建物ならんでいます。植木温泉です。明治年間にひらかれた宮原温泉もよく知られています。

わたしたち子供が楽しみにしているのが三月の初市、八月の発展祭です。夜市で金魚すくいをしたり、わたあめを買ったりします。本当に植木町はこれからまだまだのびていく活気のある町だと思えます。私は、こんなすばらしい町に住んでいる事を誇りに思います。



植木小学校5年 谷口 洋美



カメラ探訪

鎮道寺

～天草郡苓北町富岡～
 蒸汽の御船にのりて再び爰に旅寝せしかば
 たのまれぬ世をば経ぬれど ちぎりあれば
 ふたたびここに月を見るかな

勝 義邦

これは、安政五年三月に勝海舟が鎮道寺に
 来泊したとき、本堂の柱に墨書したものであ
 る。東シナ海を見渡す景勝の地にあることも
 あって、文人墨客の来訪も多く、勝海舟は再
 度に亘って来泊している。もともと鎮道寺は
 元禄十四年（一七〇一）苓北町富岡の静かな
 山の中腹に建立されたが、良規上人の本渡布
 教活動に始まり天草総道場向陽山鎮道寺と称
 した頃は、現在の本渡にある明徳寺のあたり
 だったと考えられている。

今は、すぐ隣に保育園があり、訪れたとき
 はちょうど昼寝の時間であったろうか、ひっ
 そりとしずまりかえっていて、境内の片隅に
 あるすべり台に、ふっと時代の流れを感じた。